

2015年7月24日

## 【新刊発売のご案内】

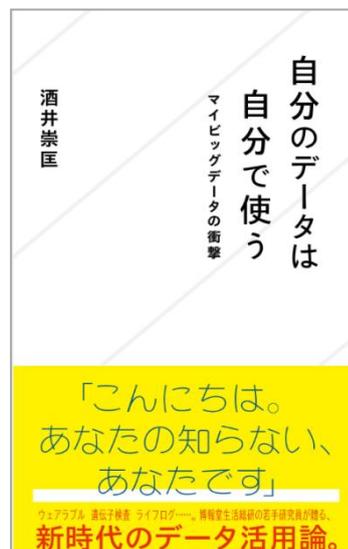
**「自分のデータは自分で使う」  
マイビッグデータの衝撃**

博報堂生活総合研究所 酒井崇匡研究員

博報堂生活総合研究所（所長：石寺修三）の酒井崇匡研究員の著書「自分のデータは自分で使う マイビッグデータの衝撃」が星海社新書より発売となりました。

本書は技術の進展によって得られる自分の身体状態に関する大量のデータの集積を「マイビッグデータ」と定義、これまで知ることができなかった多種多様な「自分のデータ」が可視化されることで、自分の潜在的な意識や身体状態と向き合いながら自己と対話(Me to Me)していく、新たな生活者の姿を明らかにしています。

ウェアラブル端末で計測される活動量、脈拍データや、遺伝子検査で明らかになる病気リスクや潜在能力レベル、スマートフォンに蓄積される行動ログデータなど、テクノロジーの進展によって私たちが得られる情報はこれからも増え続けると考えられます。本書はこの「マイビッグデータ時代」への生活者の期待と不安を意識調査によって明らかにした上で、生活者のライフスタイルや価値観はどのように変化していくのか、また新たな商品やサービスが生まれる可能性について読み解くことで、未来の暮らしを描くヒントを呈示しています。

**自分のデータは自分で使う****マイビッグデータの衝撃**

著者：酒井崇匡（博報堂生活総合研究所 研究員）

判型：新書判

ページ数：224ページ

定価：907円(税込)

発行：株式会社星海社

書店発売日：2015年7月24日（金）

## 目次

第1章 マイビッグデータに触れる衝撃

第2章 “つながり” から離脱する若者たち

第3章 マイビッグデータ時代の Me to Me コミュニケーション

第4章 自己対話のプロたち

第5章 突きつけられる問い、迫られる選択

第6章 未来予測キーワード 生まれる新たな価値観・ライフスタイル

## 著者プロフィール

酒井 崇匡(さかい たかまさ)

博報堂生活総合研究所 研究員

1982年千葉県生まれ。2005年早稲田大学政治経済学部卒業、同年、博報堂入社。

マーケティングプランナーとして、教育、通信、外食、自動車、エンターテインメントなど諸分野でのブランディング、商品開発、コミュニケーションプランニングに従事。2008年より博報堂教育コミュニケーション推進室に参加。2012年より現職。